

アドビシステムズ社が 好調な 2003 年会計年度第 1 四半期決算結果を発表

今四半期は前年同期比 11%の増収を達成

【2003 年 3 月 18 日】

米国カリフォルニア州サンノゼ発 (2003 年 3 月 13 日) (NASDAQ:ADBE) Adobe Systems Incorporated (本社:米国カリフォルニア州サンノゼ 以下アドビシステムズ社) は本日、2003 年度第 1 四半期 (2002 年 12 月~2003 年 2 月期、2003 年 2 月 28 日をもって終了) の決算結果を発表しました。この結果は前回発表した売上および 1 株当たりの利益の目標値を上回ったものです。

今四半期の売上は 2 億 9,690 万米ドルとなりました。前年同期実績は 2 億 6,790 万米ドル、前年度第 4 四半期実績は 2 億 9,470 万米ドルでした。同社の今四半期の目標売上高は 2 億 7,500 万米ドルから 2 億 9,000 万米ドルの範囲でした。

ベンチャープログラムの投資損を除く今四半期の希薄化後 1 株当たり利益の経常ベースでの参考値は 0.25 米ドルでした。今四半期の希薄化後 1 株当たり利益の目標は 0.21 米ドルから 0.23 米ドルでした。

アドビシステムズ社 社長兼 CEO であるブルース チゼンは、「前期に引き続き 2 期連続で 2 桁の増収を達成し、2003 年は素晴らしいスタートを切ることができました。この結果は、当社が第 2 四半期に予定している Acrobat® の新バージョンをはじめとする、本年度発表予定の強力な新製品の追い風となるものです」と述べています。

今四半期の「一般に公正妥当と認められた会計原則 (GAAP)」に基づく純利益は 5,420 万米ドルでした。前年同期実績は 4,980 万米ドル、前年第 4 四半期実績は 4,010 万米ドルでした。今四半期の同利益は前年比 9%増となりました。

今四半期における事業再編等にもなう費用、進行中の研究開発の取得、投資損益を除く経常ベースでの純利益の参考値は 5,890 万米ドル、前年同期実績は 5,280 万米ドル、および前年第 4 四半期実績は 5,910 万米ドルでした。今四半期の同利益は前年比 12%増となりました。

今四半期の GAAP に基づく希薄化後 1 株当たり利益は、2 億 3,530 万株の加重平均株数に対し 0.23 米ドルでした。前年同期の 2 億 4,520 万株に対する同利益は 0.20 米ドル、前年第 4 四半期の 2 億 3,840 万株に対する同利益は 0.17 米ドルでした。

今四半期の営業権の償却、事業再編等にもなう費用、進行中の研究開発の取得を除く営業利益の経常ベースでの参考値は、8,050 万米ドルでした。前年同期実績は 7,270 万米ドル、前年第 4 四半期実績は 8,380 万米ドルでした。売上に対する営業利益率の経常ベースでの参考値は今四半期が 27.1%、前年同期実績が 27.1%、前年第 4 四半期実績が 28.4%でした。

アドビ システムズ社は 2003 年度第 2 四半期の目標を、売上高 3 億から 3 億 1,500 万米ドル、売上総利益率 92%、および営業利益率は GAAP ベース、経常ベースともに 26% から 28% に設定すると発表しました。

2003 年度第 2 四半期の売上に対する費用比率の項目別目標は以下の通りです。

研究開発費 - 約 21 ~ 22%

販売・マーケティング経費 - 約 33 ~ 34%

一般管理費 - 約 10%

さらに、アドビ システムズ社は同社の発行済み株式数について、2003 年度第 2 四半期は 2 億 3,800 万から 2 億 4,000 万株の範囲にすることを目標にしています。営業外収益については四半期当たり約 200 万から 300 万米ドルを、実効税率については 30% を目標としています。以上の目標より、2003 年度第 2 四半期の 1 株当たり利益の目標は、GAAP ベース、経常ベースともに、0.24 から 0.27 米ドルの間となります。

アドビ システムズ社取締役会は、今四半期の現金配当は、1 株当たり 0.0125 米ドルで、2003 年 3 月 24 日現在名簿に記載されている同社の株主に対し、2003 年 4 月 7 日付けで支払われると発表しました。

将来的観測に基づく記述について

本プレスリリースは、実際の業績を大幅に異ならせる可能性のあるリスクと不確実性を内包した、売上、1 株当たり利益、費用、利益、収益および製品リリースに関する将来的観測を含みます。そのような原因となり得る要素として、以下が挙げられますが、必ずしもこれらに限られるものではありません。

- ・ 会社がビジネスを行っている主要地域での経済的、政治的環境の悪化
- ・ 既存の、または新たな競合他社による新製品の市場投入
- ・ 新製品や既存の製品の新しいバージョン出荷の遅延
- ・ エンタープライズ、政府、企業向けビジネス、コンシューマ市場を含む新たな市場に参入する際に伴う困難
- ・ 主要な人材を集め、維持することができないこと
- ・ 新製品や既存の製品の新しいバージョンに対する需要の減退
- ・ アプリケーションソフトウェア、コンピュータおよびプリンタ需要の低迷
- ・ 販売価格の下方調整
- ・ 知的財産に関する紛争、訴訟
- ・ 業界の新しいビジネスモデルへの移行
- ・ ロイヤリティや知的財産に関するライセンス契約内容の再交渉または解約
- ・ 会計基準の変更
- ・ 会社の株式投資にともなう市場リスク

これらおよびその他のリスクと不確実性についての解説は、当社が証券取引委員会 (SEC) に提出した、2002 年度年次決算報告書 (Form10-K) および 2003 年に提出される四半期決算報告書 (Form10-Q) 等の書類をご参照下さい。アドビ システムズ社はこれら将来的観測を更新する義務を負うものではありません。

アドビ システムズ社について

アドビ システムズ社は、1982 年に創立された、米国カリフォルニア州サンノゼに本社をおくソフトウェア会社です。これまで、法人ユーザおよびクリエイター向けに様々なソフトウェアを提供し、ネットワークパブリッシングを推進してきました。それらの製品は、豊かな視覚効果にあふれ、魅力的で、信頼度の高いコンテンツの制作、管理、配信を可能にします。アドビ システムズ 株式会社はその日本法人です。詳細な情報は、Web サイト <http://www.adobe.co.jp/> でご覧いただけます。